

スカパーJSATグループ 2018年度 上半期番組審議会

(スカパーJSAT 第30回、スカパー・エンターテイメント第23回)

開催年月日：2018年8月3日（金）

開催場所：スカパーJSAT株式会社 役員会議室

出席者

（審議委員）

委員数：7名

出席委員数：7名

審議委員長：高畑 文雄

委員：崔 洋一

委員：二宮 清純

委員：山本 浩二

委員：草野 満代

委員：田中 里沙

委員：安田 洋祐

（スカパーJSATグループ）

高田 真治：（スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員社長）

小牧 次郎：（スカパーJSAT(株) 取締役 執行役員専務 メディア事業部門長 兼 メディア事業部門コンテンツ事業本部長）

古屋 金哉：（(株)スカパー・エンターテイメント 代表取締役社長）

片岡 博：（スカパーJSAT(株) メディア事業部門 コンテンツ事業本部長代行）

齊藤 肇：（スカパーJSAT(株) メディア事業部門 コンテンツ事業本部 チャンネル事業部長）

（報告者）

植田 恭輔：（スカパーJSAT(株) メディア事業部門 コンテンツ事業本部 チャンネル事業部 スポーツチーム長）

長内 敦：（スカパーJSAT(株) メディア事業部門 コンテンツ事業本部 チャンネル事業部 編成推進チーム）

佐藤 一軌：（スカパーJSAT(株) メディア事業部門 コンテンツ事業本部 チャンネル事業部 スポーツチーム）

審議番組（1）BSスカパー！オリジナル連続ドラマ「アカギ～鷲巣麻雀完結編～」

報告者：長内 敦

◆放送概要

放送日：2018年5月25日（金）～毎週金曜日（全3話）午後9時00分～午後10時00分※
第1話無料放送。以降、Ch契約者等無料。

放送チャンネル：BSスカパー！、スカパー！ナビ、スカパー！4K総合（4KHDR方式）、
スカパー！オンデマンドにてリニア・見逃し配信

出演者：本郷奏多、津川雅彦、神保悟志、田中要次、ほか

◆放送コンセプトと実施内容

- ・累計発行部数 1,000 万部。カリスマ漫画家 福本伸行の人気原作を実写化。
- ・新進気鋭の若手俳優 本郷奏多を主人公赤木しげるに起用。天敵 鷲巣巖を日本映画界が誇る名俳優 津川雅彦が怪演。
- ・世の中ではニッチでも、スカパー！では強力ジャンルである麻雀。ワンシチュエーションで麻雀のみを撮る。
- ・最新の 4KHDR 方式で収録・放送を実施。

<審議委員会からのご意見>

- ・透明の麻雀牌を使った鷲巣ルールの麻雀がしっかり再現されていて、見ていて楽しかった。
- ・津川雅彦さんの怪演が印象的で、俳優が素晴らしいといつまでも見ていられるんだな、と実感した。
- ・麻雀はわからないがドラマの空気感を楽しめた。知らない人間を置いてきぼりにするがそれでもいいんじゃないかと思えたドラマだった。
- ・ここまで暗い世界観を再現するならば、血を抜き始めたりすると血液を抜いたところがこぶみみたいになって血管が多分黒ずんでくるみたいなの、そういったリアリティまでも追及しても良いのでは、と思った。
- ・4K で撮る以上麻雀牌についた指紋さえ映る。4K 映像へのこだわりを現場制作スタッフには持ってほしい。
- ・「麻雀」が世の中ではニッチでもスカパー！では人気があるということ、予算には限りがあることや地上波ドラマとの対抗を考えると、「アカギ」のような狭いが深掘出来る尖ったテーマでのドラマ作りこそスカパー！に必要ではないか。
- ・ギャンブルとエロは電波メディアの中で忌み嫌われているが、商品としては非常に大切な領域である。放送の倫理性を鑑みたときに、これらをどう扱っていくのかはこれから大きな課題になってくるだろう。
- ・発展途上ではあるが、2 次利用において一定の成果や作品の内容から発想した多角的な展開を想起出来た点は、評価出来る点である。

⇒頂いたご意見を参考に、スカパー！だからこそできるこだわりのドラマ作りを企画選定から制作・仕上げまで心掛け、その独自性を掘り下げていきたい。また、スカパー！内だけでなく、2 次利用やドラマから波及した多角展開など、あらゆる方面で作品・チャンネルの価値を高めていく方法は引き続き模索していきたい。

審議番組（2）緊急生中継！ハリルホジッチ前日本代表記者会見

報告者：佐藤一軌・植田恭輔

◆放送概要

放送日：2018 年 4 月 27 日（金）記者会見：午後 3 時 50 分～午後 5 時 20 分

検証番組：午後 5 時 20 分～午後 6 時 20 分

※ノースクランブル放送

放送チャンネル：BS スカパー！、スカサカ！、スカパー！ オンデマンドにてリニア・見逃し配信

出演者：西岡明彦、岩政大樹、小澤一郎、河地良幸、西川結城

◆放送コンセプトと実施内容

- ・ロシア W 杯本大会 2 ヶ月前に電撃解任となったハリルホジッチ前日本代表監督による解任理由を不服とする

緊急記者会見を完全ノーカットで放送。

- ・監督の解任原因より、サッカー協会に対しても忌憚なき意見や、サッカー的観点から「ハリルホジッチ前監督が日本サッカーに与えた影響・学ぶべきこと」をテーマに検証できる出演者を起用して、日本サッカーの未来につながる番組制作を大テーマに設定した。

<審議委員会からのご意見>

- ・記者会見の内容をすべてノーカットで生中継を行い、客観的に検証を行い、視聴者に判断する機会を提示するというスカパー！の姿勢は評価できるし、良いことだと思う。
- ・記者会見そのものは、単調な画面構成で、同時通訳も聞きにくい部分があり、もう少し会見の内容を分かりやすく伝える工夫ができたのでは無いか。例えば会見中にスタジオ解説者のコメント・キーワードをテキストにして表示する等、視聴者に追加的な情報を与える方法は検討出来るのでは。
- ・出演者のテロップが無く、途中から観る人たちにはわかりづらかったのでは。また暫く同じツイートが表示されていたが、番組内で触れるなどもう少し配慮が必要だと思う。
- ・会見後のレポートはなぜ車中からなのか。突然バラエティになってしまった印象を受けた。(⇒記者会見後いち早く立ち退く必要があり、会場近くで一番安定的に中継できる場所が車中であつたと制作担当者が回答) また、パネルで簡単に論点整理するなどの一工夫があると良いと思う。
- ・サッカー日本代表監督の決定・解任には昔から選定権や決定権が判りにくい点が多い、今回の番組のテーマが代表監督解任の検証なのであれば、解任を決定するプロセスの検証もできたらさらに良かったのではないかな。
- ・私はサッカーの専門家ではないけれども、解説者のコメントは鋭く、やはり批評性というのはスポーツ番組でも実に大切なんだなということを非常に強く感じた。

<報告事項>

「今後の多チャンネル番組審議対応について」

報告者：(株)スカパー・エンターテイメント 代表取締役社長 古屋金哉

- ・スカパー・エンターテイメントは、東経 124 度、128 度 CS 放送 (プレミアムサービス) 登録一般放送事業者であり、ラジオチャンネルを除く全チャンネル (番組供給事業者) の放送事業者である。一方、基幹放送として位置づけられている BS 放送、東経 110 度 CS 放送 (スカパー！サービス) の認定基幹放送事業者でもあり、自主チャンネル及び番組供給事業者 2 社のチャンネルが、スカパー・エンターテイメントのチャンネルである。(但し、すべてのチャンネルがプレミアムサービスのチャンネルとのサイマル放送である)
- ・各番組供給事業者の考査・番組審議会等で既にチェックをされているが、スカパー・エンターテイメントは放送事業者として、プレミアムサービス番組供給事業者 158ch 全てを見る立場にあるため、毎月、考査委員会を実施し過去 1 カ月から 2 カ月先までの番組の内容・情報を確認している。また、カスタマーセンターに寄せられるお客様からの番組へのお問い合わせ、ご意見を毎日社員がパソコン上で確認できる環境になっており、月単位で整理しチェックをしている。
- ・何かあれば直ちに番組供給会社と確認するという体制にしているが、現時点では大きな問題は発生していない。
今後、当番組審議会でも、番組供給事業者の各チャンネルで放送した番組についても審議いただく場合もある。
- ・今後のチャンネル予定として、スカパー！サービスの HD 化を推進する中で、プロモ 100、スカチャン 2 とスカチ

ヤン 3 を閉局し、KBS World を新規開局、ナショナル ジオグラフィックを運営する計画となっている。

- ・2018 年 12 月 1 日には、「新 4K8K 衛星放送」が開始され、スカパー・エンターテイメントとしても 8 チャンネルを開局する予定。